

こども小潮太鼓

平成 3 年に当時の南大分小学校長の故・酒井哲真氏が地域社会と学校教育の交流を願い、設立され豊後潮太鼓の指導のもと、南大分を拠点に演奏活動を続けております。

今年で結成 26 年目を迎えたこのチームは小学 4・5・6 年と中高生を含む 26 名で編成されており、さまざまな地域を年間 20～30 回の公演を行っております。

子供達は、和太鼓を通じ色々な方たちとの交流をし、また日本の伝統楽器に携わる中で、規律ある礼儀作法を学んでおります。

演 目

一. ちきりん太鼓

大分の昔より伝わるチキリンのリズムをモチーフに組太鼓で表現しています。
結成時より叩き継がれている曲です。

二. うずしお

豊後水道の情景、厳しい潮の流れの激しさ、力強さを表現しています。

三. 荒 濤(あらなみ)

あらなみ渦巻く厳冬の海でさまざまな民たちが必死に生き抜くさまを表現しています。

四. さざなみ

穏やかな春の海にまんべんなく降り注ぐ陽光に生き物たちは生き活きと活動を始めます。
楽しい笛の音色と躍動感あふれるリズムをお楽しみ下さい。

この曲は 2007 年に福岡で行われた九州ティーンズ和太鼓フェスティバルにて、審査員特別賞を受賞した曲です。

五. 鼓 心(こしん)

子守唄から始まる命の鼓動を成長と共に鼓の心をもって生きる勇気と希望を表現します。

六. 府内戦紙(ふないぱっちゃん)

大分市で行われるビッグイベント七夕まつりのメインです。

武者姿、昇り龍など派手な造物で内部は照明入りのため夜はひとときわ映え、踊り隊を伴って町を練り歩くそのテーマ曲です。